

授業実践ギャラリー



生徒会役員選挙



先日、令和8年度の生徒会役員を決める選挙が行われました。

本校では普通科、職能開発科からそれぞれ会長、副会長、書記を選出しています。



選挙の実施にあたり、主権者教育として、「そもそも選挙とは何なのか」「主権者としての責任とルール」などを学びました。

自分たちの未来を託すことができるリーダーを選んでいくことが大切です。

そして投票した人は「選んだ責任」も知っておかなければいけません。

立候補者は決められた期間、選挙活動を行うことができます。  
朝、登校してくる生徒に挨拶をしたり、立会演説会で応援演説とともに、自身の考えを有権者に訴えたりしています。



「みんなが明るく楽しく学校生活を送れるように、挨拶を大切にしたい」と言っていた立候補者。率先して笑顔で声を掛けていました。



投票所では選挙管理委員会(現生徒会役員)が選挙の運営をしています。  
支援が必要な有権者は受付で申し出れば、代理で投票用紙に記入してもらう「代理投票」も体験できます。



普段書き慣れない、人の名前の漢字を一画一画丁寧に投票用紙に記入していました。  
どんなことにも真摯に向き合っている本校生徒たち。リーダーに選ばれた人は、その気持ちに応えて頑張ってもらいたいと願います。